

令和4年度 年間指導計画

教科・科目	国語・現代文研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	いづな書店「三訂版プログレス現代文総演習標準編」

学習目標
国語総合・現代文で学んできた内容の発展的学習により、国語の向上を目指し、確実な読解力を身につけ、深い作品理解力や思考力・想像力を目指す。また、さまざまな分野の文章を読み解くための豊富な語彙を身につけ、応用力を養い、人生を豊かにする態度を育てる。

学習方法
○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
○ 授業においては現代文研究専用の問題集を利用。
○ 現代文に頻出の単語を身につけるために、小テストがあります。
○ 家庭学習における課題の提出。最後まであきらめずに取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって文章に親しもうとする。	
b	話す・聞く能力	評論・小説・随想などの文章を読み、評論の論点、小説の着眼点を見つけ、説明できるようにする。		
c	書く能力	評論・小説・随想などの文章を読み、まとまった量の内容を要約し、自己の表現力や推敲する力を高める。		
d	読む能力	評論・小説・随想などの文章をある程度の速度で読み、書き手の意図などを的確にとらえられるようにする。		
e	知識・理解	評論・小説の中で頻出する語句に着目し、その語句の関連事項を学び、重要単語の背景にある時代や文化、社会などに関する知識を深める。		

学期	時間数	指導事項	単元の評価規準	評価方法	主な学習活動	単元(題材)
前期	4	現代文における基本的な読解について1・2年次の学習を基に確認し、より高度な読みの体験をする導入的な役割をする。	a：時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：指示語が示すものを抜き出すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題等の提出状況と内容 観察 定期考査 授業演習問題 各時間における小テスト提出 授業時の小テスト ワークシートの作成と提出 意見の集約や発表 各提出物 	現代日本における「即座主義」の具体例を挙げ、共有する。	○白秋望景 ○ブラリひょうたん
	6	2000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：評論を読む際に構成を意識して読もうとしている。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：評論の接続詞に注目して、次の論述を予測しながら読むことができる。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		自分が書いた百字要約を他の生徒と見比べて推敲してみる。	○母の死と新しい母 ○東京の空聞人類学 ○技術の正体
	8	「子ども」から「大人」への成長を現代社会の問題と関連付けながら考えることができる。小説を読んで、登場人物の心情を自然に想定できる。	a：長編物語の構成や展開に注意して読むことができる。 b：登場人物の行動や心情を理解し、説明できる。 d：文章の構成に即して内容を的確に捉えられている。 e：主語・述語を押さえて文脈を理解できる。		選択問題の正解を吟味して、なぜその正解が導かれるのか話し合う。	○名人伝 ○雨あがる ○青年期の生き方について
	2	論理的な文章を読んで、文章の構成に注意しながら、分析的に読み取る。	a：時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：自分の書いた小論文などへの参考にし、批判的に読むことができる。		文章の中で説得力があると思える部分に線を引いて、他人が線を引いた部分と見比べて考えてみる。	○悲鳴をあげる身体 ○独酌予滴
	2	文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：これまでよりも速いスピードで文章が読める。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて理解できている。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		百字要約の際に、主述がねじないように注意して書く。	○母
	6	文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：これまでよりも速いスピードで文章が読める。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて理解できている。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		百字要約の際に、主述がねじないように注意して書く。	○自分と向き合う ○時間という錘 ○見ることと聞くこと
	10	論理的な文章を読んで、文章の構成に注意しながら、深く読み取る。筆者が体験したエピソードから醸し出される気持ちや心情を読み取る。	a：本文を根拠として設問の答えを探そうとしている。 b：頻出するテーマに対する常識的な意見への反論や、一般的な意見を別の視点から説明できる。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：自分の書いた小論文などへの参考にし、批判的に読むことができる。		勘ではなく、明確な根拠をもって、なぜその選択肢が正解なのかを説明する。	○寝ながら学べる構造主義 ○陰翳礼賛 ○桜島 ○鹿を追いかけて

後期	10	情報科学の問題点、歴史に対する事実認識、主人公の目を通した生き方考え方を読み取る。	a : 歌論を読みながら、日本の情趣や日本人的な思想を理解し各作品を味わうことができる。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 筆者の主張を理解し、設問に対して論理的に解答を導こうとしている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出状況と内容 ・観察 ・定期考査 ・授業演習問題 ・各時間における小テスト提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物 	設問の意図を理解して記述問題を本文を根拠に書く。	○AIさえあれば生きていけるのか ○グッバイ・ゴジラ、ハロー・キティ ○社会学入門一步手前 ○風葬の教室	
	8	歌論を読み、和歌の表現について味わうとともに、「世界の中の日本」という視点から我が国を分析する視野を持つ。	a : 歌論を読みながら、日本の情趣や日本人的な思想を理解し各作品を味わうことができる。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 筆者の主張を理解し、設問に対して論理的に解答を導こうとしている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。			「世界の中の日本」というテーマで意見を交換し、自らの視野を広げる。	○世界を知る力 ○詞華断章 ○なぜ英語以外の外国語を学ぶのか ○海と文明
	8	現代における社会問題に関する評論を読み、筆者の理論の展開をまとめる。また、複数の文章から成る文章題に挑戦する。	a : 設問を予測しながら読もうとしている。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 主人公の目を通した様々な観念、概念などについて理解できている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。			リスク社会における政治的・倫理的決断について話し合う。	○新欲望論 ○ボランティアもうひとつの情報社会 ○彼岸過迄 再発見夏目漱石 ○生命工学の現状 生物と文学の間
計	64						